



第1025回 例会報告(2012年1月26日)

CLPについて

会長、幹事

司会 / 長岡忠明 S.A.A

ロータリーソング / 四つのテスト

会長挨拶 / 伊藤正典 会長

皆様こんばんは。先に悲しいご報告をさせていただきます 藤田宣三会員の奥様眞利子様が25日15時頃に亡くなりました。謹んでご冥福を申し上げます。通夜式 告別式は稲垣幹事から報告されると思います。

21日から大寒に入り、冬本番の厳しさを感じますが、毎日のようにテレビが伝える雪の様子を目にする度、昨年の震災の事もあり、そこで生活される方々の苦勞が思われてなりません。何とかエールを送りたくになります。

そんな折、私は健康診断を受け、結果は予想通りのメタボの指摘をされた以外、血圧も標準値に収まっており、多少の戸惑いがありました。私の場合、大病で生死の境を2度越えた60歳の今、健康に配慮した生活を送るのが当然のごとく周囲に期待されますが、お酒とおいしい食べ物が大好きな自然体を貫くこの身には結構困難な事なのです。しかし、健康の為に一応努力し楽しく過ごしたいと願っていますが、寒さの中で苦勞されている方を思うと恥じ入るばかりで考えてしまいました。

さて、今週の例会はCLP導入に向けて川岸憲博会長エレクトにお話を伺う予定です。皆様に、十二分に御理解いただき、進めてまいりますので、御協力よろしくお願い致します。

幹事報告 / 稲垣弘泰 幹事

- ・藤田会員の奥様、眞利様のご逝去されました。お悔やみ申し上げます。
- ・ロータリーカードのご利用をお願いします。利用額の0.3%が東日本大震災の支援金となります。
- ・次週の例会は講師例会となります。欠席のないようお願いいたします。次週もグリーンパークホテル鈴鹿での例会となります。
- ・本日、例会終了後に理事役員会を開催いたします。

委員会報告

・環境保全委員会

今年の「はごろも並木復活大作戦」植樹活動が2月23日(木)に決まりました。時程・準備等の詳細については後日にお知らせいたします。

・広報・雑誌委員会

今週の週報にロータリーニュース2件を掲載いたしました。他に1件。

1. インド国内にて一年の間、ポリオの自然発生事例がなく、ポリオの非流行国となりました。ロータリーの貢献がニューヨーク・タイムズにも大きく取り上げられました。
2. R.I.会長エレクトである田中作次氏から2012~13年のテーマが「Peace Through Service」「奉仕を通じて平和を」と発表されました。
3. 第2500地区パストガバナー道下俊一様より「仕事に、そしてロータリーに復帰しました」とお便りをいただきました。

出席報告 / 中川五彰 出席委員長

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
1月26日	14名	8名	6名	57.14%

本日の欠席者:藤田宜三、平田 完、磯部定行、伊藤吉民、前川泰彦、中川五彰各会員

2週間前の補正後出席率 14名中 10名 71.43%

本日の例会 / 会長・幹事担当例会

川岸会長エレクトより

「現・次年度 会長・幹事会 クラブ・リーダーシップ・プラン勉強会」について報告されました。

詳細については配布資料をご参照ください。

尚、後日に会員皆様よりCLP活動についてご意見を賜りたいと思います。

CLP活動を始めるにあたって

R I D 2 7 1 0 地区 防府ロータリークラブ ブログより

はじめに

新世紀へのロ - タリ - の発展と地区やクラブの活性化を願って 1996 年度から DLP が開始され、更に引き続いて、2004 年 11 月には RI 理事会で正式に CLP が承認され、現在、各クラブに推奨されています。皆様、御承知のように、DLP は、地区にガバナ - を補佐するガバナ - 補佐制度を導入して、クラブ活動を支援、強化し、又、それに伴って地区やクラブの指導者を育成する為に設けられたものですが、現在、地区の制度として次第に定着し、成果を上げているように思われます。

この度の CLP の導入は、直接、クラブ活動の活性化を期待するもので、地区との関連で DLP と CLP は延長線上にあり、一体となって、機能的に効果を発揮することが望まれています。

CLP の目的

- 1、新世紀におけるロ - タリ - ・クラブ活動の活性化と発展を期待する。
- 2、クラブ会員の全員参加で、地域社会や国際社会のニ - ズに応えるプロジェクトを実施し、ロ - タリ - の理想に叶う成果を挙げる。
- 3、クラブの発展を期するために、クラブの管理運営を効率良く簡素化し、ク会員基盤の維持、拡大を図るよう、最善の努力をする。
- 4、「世界で良いことをしよう」を目的として活動しているロ - タリ - 財団を理解し、活動を推進する。
- 5、ロ - タリ - の迅速・正確な情報伝達を行い、効果的な研修・教育システムを確立して、会員及び将来の指導者を育てる。

CLP の基本的心構え

- 1、最初に、クラブのオ - ナ - ・シップ (自主性) を会員全員で自覚し、クラブ活動の主体は自分達自身であることを認識する。
- 2、そして、自分達のクラブの歴史と活動内容を振り返り、棚卸しをしてクラブの個性と活動の特徴をしっかりと把握し、理解し合う。
- 3、CLP では、草の根レベルの活動が肝要。地域に密着した着実な活動や国際社会で必要とする活動をバランス良く進める。
- 4、多様性の認識を持つこと。ロ - タリ - の最大の特徴である文化や信条、言語等を超越した国際的な多様性を理解し、又、活動の方法も現代社会に適応した方法を各種多様に実施する。
- 5、出来るだけ全員参加を心がけ、クラブ会員の協同参加意識 (連携、親睦、交流) を高め、何よりも熱意を持って、積極的に行動する。
- 6、活動は、固定概念に捉われず、柔軟に応用できる最善の方法を考え、確実に実践する。

2月9日(木)は雪見例会です。ロータリーについて楽しく語り合しましょう。

場所 四川料理「楼蘭」 点鐘 午後6時30分